

初冬の高尾を歩く (2021/12/21)

狭山班 服部昌樹

2021.12.22

当初予定の12月7日は天気予報が悪く中止にしたものの、当日の天気はそれほど悪くならず、狭山に居て、決行した方が良かったのかと悔やむ。ただ池袋線が人身事故でダイヤが乱れ、結果として延期して良かったことを知る。

延期した21日は、朝から雲一つない快晴、風もない暖かい初冬の日になった。今回はいくつかある高尾山登山ルートのうち一番南の「稲荷山コース」に登りに、下りに一番北の「一号路コース」を利用した。火曜日なのに、我々の登った「稲荷山コース」には、高校生や専門学校の生徒が20-30人のグループに分かれ次々登ってくる。そのたびに脇に寄り、しばらく「若者」の通過を待つ。走る人半袖の人などさすがは若者と感心し、そして自分自身の年齢を再認識する。



頂上に着くといろいろなルートから登って来た人で、あふれるほどではないが、年齢層の異なる多くの人たちが食事や休憩をしている。普段行く奥武蔵のハイキングコースと違い、平日にもかかわらず



ず若者やヤングファミリーが多い。さすがミシュランに載る「高尾山」である。快晴で、都心方面は少しもやっているがスカイツリーまで見える。そして西方の白く雪をかぶった富士山はくっきりと、さらに南アルプスまで見える。高尾山には、もう何回も登っているが、南アルプスまで見えたのは初めてである。

昼食は人混みを避け、頂上から 40 分程度の広々とした一丁平園地までさらに歩く。意外に遠く、アップダウンもある。



日なたに場所をとり、ゆっくり食事をする。日差しが暖かい。しかし太陽の位置が移動し、いつの間にか日陰に入り寒い！と声を上げる人も。



帰りは、山頂は「巻き道」で迂回し、「薬王院」経由で下山する。下山時に利用した 1 号路は舗装され歩きやすいが、だらだらと下り坂が続き、膝に応えた。

予定より 30 分ほど早く高尾山口駅についた。全行程を通じて、ほぼ予定通りの時間で歩くことが出来た。

参加の皆さんありがとうございました。天気にも恵まれ、また皆さんのおかげでとても楽しいハイキングになりました。筆者の万歩計は 27,550 歩(自宅から最寄り駅まで往復の歩数が含まれる)、いっぱい歩きました。

次回は入間班主催 2月1日(火) 飯能駅—宮沢湖一周になる予定です。

今回の計画・結果

1. 日時・天気 : 12月21日(火) 快晴・無風

2. 行き先 : 高尾山

3. 標高 599m、距離 約 9.3 km

4. 所要時間 歩行時間約 4.5 時間

5. 集合 高尾山口駅 9:00

6. < 行き >

入間市 7:17 → 7:34 所沢 7:38 → 7:41 東村山

狭山市 7:25 → 入曽 7:28 → 7:41 東村山

東村山 7:44 → 7:58 国分寺 8:04 → 8:31 高尾 8:41 → 8:44 京王高尾山口

(一部の方は、八高線経由)

7. < 行程(実績) >

高尾山口駅前 9:05 → 9:50 稻荷山 → 11:00 ビジターセンター → 11:45 一

丁平園地 昼食 12:30 → 薬王院 → 一号路経由 → 14:30 高尾山口駅着

以上